

令和2年

高山市外国人観光客宿泊統計

令和3年4月

高山市 海外戦略課

1. 調査方法

市内宿泊施設からの聞き取り調査

2. 調査結果

1) H31.1～R1.12月-R2期の外国人宿泊者数比較(前年同月比)⇒82.2%減少

	外国人宿泊者数(人)		
	令和2年	平成31年・ 令和元年	伸率
1月	60,826	48,373	+25.7%
2月	38,128	55,781	▲31.6%
3月	7,500	43,397	▲82.7%
4月	179	74,033	▲99.8%
5月	61	56,266	▲99.9%
6月	226	38,953	▲99.4%
7月	178	41,039	▲99.6%
8月	262	44,297	▲99.4%
9月	215	37,353	▲99.4%
10月	184	61,552	▲99.7%
11月	516	56,704	▲99.1%
12月	445	54,456	▲99.2%
計	108,720	612,204	▲82.2%

2) 全体数値 (訪日外客数との比較)

(単位:人)

	高山市外国人宿泊数(人)		訪日外客数(人)	
		対前年比		対前年比
平成23年	95,000	—	6,218,752	—
平成24年	151,000	158.9%	8,358,105	134.4%
平成25年	225,000	149.0%	10,363,904	124.0%
平成26年	280,322	124.6%	13,413,467	129.4%
平成27年	364,471	130.0%	19,737,409	147.1%
平成28年	461,253	126.6%	24,039,700	121.8%
平成29年	513,479	111.3%	28,691,073	119.3%
平成30年	552,301	107.6%	31,191,856	108.7%
平成31年・ 令和元年	612,204	110.8%	31,882,049	102.2%
令和2年	108,720	17.8%	4,115,828	12.9%

3) 地域別数値

(単位:人)

	令和2年		平成31年・令和元年
		対前年比	
北米	2,540	5.8%	43,600
中南米	736	9.1%	8,076
ヨーロッパ	6,081	4.3%	142,190
アジア	85,808	25.2%	340,443
オセアニア	3,587	11.9%	30,064
中東	99	0.7%	14,286
その他	9,869	29.4%	33,545
合計	108,720	17.8%	612,204

4) 地域別割合

	令和2年		平成31年・令和元年
		対前年比	
北米	2.3%	▲4.8%	7.1%
中南米	0.7%	▲0.6%	1.3%
ヨーロッパ	5.6%	▲17.6%	23.2%
アジア	78.9%	+23.3%	55.6%
オセアニア	3.3%	▲1.6%	4.9%
中東	0.1%	▲2.2%	2.3%
その他	9.1%	+3.6%	5.5%
合計	100.0%	—	100.0%

5) 国別数値

(単位:人)

	高山市外国人宿泊数(人)		平成31年・ 令和元年
	令和2年	対前年比	
アメリカ	1,764	5.1%	34,511
カナダ	776	8.5%	9,089
メキシコ	176	8.8%	2,007
ブラジル	333	9.8%	3,393
イギリス	1,239	5.4%	23,124
フランス	1,084	5.2%	20,815
ドイツ	905	7.4%	12,161
イタリア	563	3.1%	18,458
スペイン	1,116	3.2%	34,952
オランダ	223	2.7%	8,162
ロシア	71	10.0%	712
スイス	110	2.9%	3,801
中国	19,728	31.9%	61,841
台湾	26,818	25.8%	103,763
香港	8,916	18.5%	48,099
韓国	762	6.7%	11,453
タイ	16,387	31.0%	52,945
シンガポール	2,239	12.3%	18,176
マレーシア	3,108	18.6%	16,725
インドネシア	2,801	23.9%	11,699
ベトナム	568	28.8%	1,972
フィリピン	1,065	42.9%	2,481
インド	121	10.5%	1,157
オーストラリア	3,025	11.5%	26,365
ニュージーランド	230	9.9%	2,334
アフリカ	27	2.0%	1,347
イスラエル	66	0.5%	12,639

6) 全宿泊者数と外国人宿泊者数の比較

	令和2年 外国人宿泊割合			平成31年・ 令和元年 外国人 宿泊割合	宿泊割合 増加率
	全宿泊者数	外国人 宿泊者数	外国人 宿泊割合		
1月	206,000	60,826	29.5%	27.5%	107.4%
2月	163,000	38,128	23.4%	29.8%	78.4%
3月	70,000	7,500	10.7%	27.5%	39.0%
4月	13,000	179	1.4%	35.4%	3.9%
5月	6,000	61	1.0%	26.9%	3.8%
6月	34,000	226	0.7%	27.1%	2.5%
7月	51,000	178	0.3%	23.2%	1.5%
8月	104,000	262	0.3%	17.1%	1.5%
9月	89,000	215	0.2%	20.3%	1.2%
10月	131,000	184	0.1%	29.2%	0.5%
11月	127,000	516	0.4%	28.8%	1.4%
12月	73,000	445	0.6%	33.8%	1.8%
計	1,067,000	108,720	10.2%	26.9%	37.8%

3. 3年前の各種数値との比較

1) H29-R2 外国人宿泊者数比較【高山市】⇒78.8%減少

	令和2年	平成29年	伸率
1月	60,826 人	43,067 人	+41.2%
2月	38,128 人	41,278 人	▲7.6%
3月	7,500 人	33,900 人	▲77.9%
4月	179 人	76,784 人	▲99.8%
5月	61 人	51,656 人	▲99.9%
6月	226 人	28,255 人	▲99.2%
7月	178 人	33,165 人	▲99.5%
8月	262 人	33,718 人	▲99.2%
9月	215 人	28,179 人	▲99.2%
10月	184 人	56,828 人	▲99.7%
11月	516 人	42,574 人	▲98.8%
12月	445 人	44,075 人	▲99.0%
計	108,720 人	513,479 人	▲78.8%

2) H29-R2 訪日者数比較【全国】⇒85.7%減少

	令和2年	平成29年	伸率
1月	2,661,022 人	2,295,668 人	+15.9%
2月	1,085,147 人	2,035,771 人	▲46.7%
3月	193,658 人	2,205,664 人	▲91.2%
4月	2,917 人	2,578,970 人	▲99.9%
5月	1,663 人	2,294,717 人	▲99.9%
6月	2,565 人	2,346,442 人	▲99.9%
7月	3,782 人	2,681,518 人	▲99.9%
8月	8,658 人	2,477,428 人	▲99.7%
9月	13,684 人	2,280,406 人	▲99.4%
10月	27,386 人	2,595,148 人	▲98.9%
11月	56,673 人	2,378,079 人	▲97.6%
12月	58,673 人	2,521,262 人	▲97.7%
計	4,115,828 人	28,691,073 人	▲85.7%

3) H29-R2 地域別外国人宿泊者数比較【高山】

	令和2年	平成29年	伸率
北米	2,540	27,858	9.1%
中南米	736	5,657	13.0%
ヨーロッパ	6,081	86,027	7.1%
アジア	85,808	294,877	29.1%
オセアニア	3,587	26,031	13.8%
中東	99	10,993	0.9%
その他	9,869	62,036	15.9%
合計	108,720	513,479	21.2%

4) H29-R2 地域別訪日者数比較【全国】

	令和2年	平成29年	伸率
北米	275,301	1,756,732	15.7%
中南米	27,750	92,106	30.1%
ヨーロッパ	240,897	1,525,662	15.8%
アジア	3,395,741	24,683,638	13.8%
オセアニア	160,386	564,527	28.4%
中東	7,806	32,758	23.8%
その他	7,947	35,650	22.3%
合計	4,115,828	28,691,073	14.3%

4. 総評

1) 令和2年外国人宿泊者数について

平成31・令和元年の外国人観光客の宿泊者数は、約61万2千人となり過去最高を記録したが、令和2年は82.2%減の約10万8千人に落ち込んだ。

なお、令和2年の訪日外客数は、前年比の概ね13%であり約411万6千人と減少している。

2) 新型コロナウイルス感染症の影響について

令和2年1月下旬以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年2月以降において順次水際対策が強化された結果、令和2年1月期は過去最高の外国人宿泊者数(60,826人)を記録したものの、その後は減少に転じ、4月期以降12月期までの9ヵ月間は毎月前年同月比99%減の結果となった。

3) 地域・国別の宿泊者数について

全地域及び国の宿泊者数が前年と比較して大きく減少する結果となった。なお、タイ、インドネシア、フィリピン等の東南アジア地域からの来訪については、冬期～春期にかけて旅行者が集中する傾向にあることから、堅調に推移した令和2年1月及び2月期の影響が大きく、他の地域及び国に比べて宿泊者数の減少幅は小さい結果となった。